



パトロール龍江

令和4年7月号
発行 龍江駐在所
TEL 0265-27-3007

夏山遭難防止



夏山シーズンとなりました。昨年の山岳遭難は、7月、8月だけで88件発生し、遭難者は、死者12人、行方不明者1人、負傷者43人、無事救出者35人の合計91人に上ります。

特に北アルプスでは55件と県下全体の約6割を占める遭難が発生しました。

遭難の態様としては、例年と同様、転倒や転落・滑落が最も多く、下山中の遭難が目立ちました。

登山者の皆さんは、登山は観光ではなく、危険を伴うスポーツであることを理解し、自分の体力・技術・経験に合った山を選び、次の点に注意して安全で楽しい登山を心掛けてください。

○登山計画は必要です

日程や登山コースは、自分の体力や技術に合っているか確認し、無理のない安全な登山計画を立てましょう。

○行動予定を明らかにしましょう

事前に登山計画書を作成し、家族や友人、職場等に託すとともに、県電子申請や日本山岳ガイド協会登山届提出システム「コンパス」等を活用し提出しましょう。

○体調管理万全に

体力不足のため途中で行動不能となる遭難も見受けられます。入山に備えて日頃からトレーニングを行い、体調を万全にしておきましょう。また、入山前に体調に不安がある場合には、登山を中止しましょう。

○雨具などの装備は必携

山の天候は変わりやすく、過去には夏でも降雨の中、雨具がなく濡れたまま行動し、登山道で低体温相となり、遭難した事例があります。また、雷溪が残っている沢筋では、アイゼンやピッケルが必要な場合があります。

○リーダーの責任は重大

リーダーは、体力・技術そして豊富な経験と判断力が求められます。パーティ全員の体調を把握し、安全を最優先した判断を行わなければなりません。判断ミスは、パーティ全員の生命に関わる遭難につながることを忘れてはいけません。

防災ワンポイント

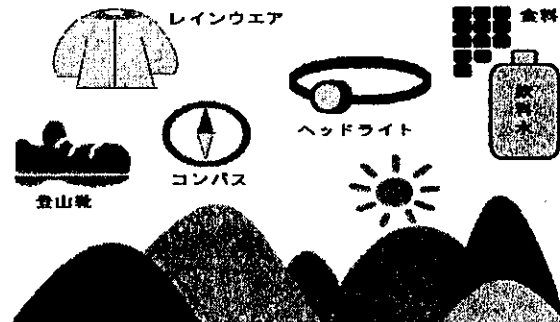
大規模災害の発生に備え、防災上のポイントを複数回に分けてお知らせします。

今回は、**非常持ち出し品の準備**です。

次の物をリュック等にまとめておくと、いざという時に重宝に活躍することがあります。

<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> ヘルメット	<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/> 避難用・メモ帳
<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> レインコート	<input type="checkbox"/> 雨ブラシ	<input type="checkbox"/> 現金
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 湯桶	<input type="checkbox"/> 携帯トイレ	<input type="checkbox"/> 携帯充電・充電器
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 携帯トイレ	<input type="checkbox"/> ビニールシート	<input type="checkbox"/> バスポート・身分証
<input type="checkbox"/> 乾電池	<input type="checkbox"/> 下着	<input type="checkbox"/> 水筒	<input type="checkbox"/> 避難用のマスク等

この際かに、新型コロナウイルス対策として、不織布マスクやアルコール消毒液も準備しておきましょう。



夏の交通安全やまびこ運動

【期間】7月22日～7月31日



重点① 夏休みの子供の交通事故防止

- 小さなお子さんから「目と手と心」を離さず、周囲の大人が見守りましょう。
- お子さんに繰り返し交通ルールについて注意を促しましょう。
- 思いやりを持った運転を心掛け、子供を交通事故から守りましょう。

重点② 自転車のルール遵守と安全利用

- 自転車の交通ルールを守るとともに命を守るために、ヘルメットを着用しましょう。
- 交差点では、一時停止をして左右の安全確認を確実にに行いましょう。

重点③ 高齢者と歩行者の交通事故防止

- 高齢になるにしたがって、視野、反射神経、筋力等に身体機能が変化しますので、丁寧な安全確認を心掛けましょう。
- 横断歩道を横断するときは、首を振っての安全確認やハンドサインで横断する意思を伝えましょう。

重点④ 飲酒運転を始めとする悪質・危険な運転の根絶

- 「飲んだら乗らない」「乗るなら飲まない」「乗る人には飲ませない」「飲んだ人には運転させない」
- 「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持って、安全な速度・方法で運転しましょう。

